

スモーキー

Char

ソロ・ギターの
しらべ 至上のジャズ・アレンジ篇

難易度

C

ファンキーなCharの代表曲を
ストローク中心のアレンジで再現

CD
Track

30

「スモーキー」 Words & Music by 竹中尚人

Charの代表曲で、1977年発表の彼の1stアルバム『Char』以降何度もセルフ・カバーされており、またライブの定番メニューでもある。

①カッティングの連続によるフレーズ。コードそのものは16分の裏から始まるので、表で1度ダウン・ストロークによるミュート・カッティング(ブラッシング)を弾いておき、以降のコードはすべてアップ・ストローク(写真1)で。途中のカッコ付きXは、特に弾かなくても良い(ノイズ的な音が出る程度でもOK)。

②Dm7⁽⁹⁾とEm7⁽⁹⁾でたびたび出てくる基本のフォームが図1(Em7⁽⁹⁾)は図1より2f高いポジションを押弦)。特にEm7⁽⁹⁾の時には6弦開放を親指で叩くようにピッキング(写真2)して音を伸ばす。また、通常人差指は4弦だけを押しさえるが、メロディの関係上、5fをセーハすることもある。

③冒頭のコードは1～5弦を普通にストロークするが、次は2弦がメロディのため1弦を消音する必要がある。左手の人差指セーハを1弦部分だけ浮かせて音が出ないようにしても良いが、私は右手のアップ・ストローク時に、ストロークより一瞬早く右手薬指を1弦に付けることで消音している(写真3)。

④ここのXはギターのボディのみを叩いてリズムをとっている(写真4)。

● 奏法ポイント ●

●写真1



指の頭を中心にアップ・ストローク。

●写真2



親指で叩く感じでピッキングする。B 5小節目も同様。

●写真3



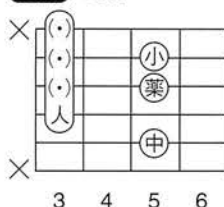
先に薬指で1弦に触れて消音。

●写真4



親指で叩く。サウンドホールの上あたりを狙っているが、どこを叩いてもOK。

●図1 Dm7



[illegible]